

# 令和 7 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

## 1. 施設の概要

施設名	白杖園	所管課	障がい福祉課
所在地	岐阜市京町1丁目64番地		
指定管理者名	一般社団法人 岐阜県視覚障害者福祉協会		
指定期間	令和4年4月1日から令和 9年3月31日まで		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料	<input type="checkbox"/> 利用料金	<input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	9,494,120円／年		
施設の設置目的	あんま師、はり師又はきゅう師の免許を有する視覚障がい者の自立更生を図る		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 2階建のうち1階及び木造2階建 ◇敷地面積:342.80m <sup>2</sup> ◇延床面積:234.70m <sup>2</sup> ◇施設内容:治療室、施術者控室、事務室		

## 2. 利用状況

		令和7年上半期	令和6年下半期	令和6年上半期	令5年下半期	令和5年上半期
利用者数(単位:人)		981	894	840	635	600
各室稼働状況(人)	施術者控室(通所者数)	402	390	368	291	286
	治療室(受療者数)	579	504	472	344	314

## 3. 業務の履行確認

区分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市盲人ホーム条例施行規則に従い厳守した。 ②園長1名・指導員2名・職員1名・パート1名・運営委員4名で運営 ③ホームページ・看板・広告・チラシ ④苦情はありませんでした。
自主事業・提案事業	—	①今期は7月22日に白杖園・友楽園との合同防災訓練を行い、防災に対する意識を高めた。 ②コロナ・インフルエンザ対策として空気清浄機・消毒液・マスク・体温計を常備した。AEDも完備している。
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②夜間警備業務 ③非常通報装置保守点検 ④利用者用駐車場の管理 ⑤光熱水費の支払	①日常的な清掃は職員が毎日行った。 ②委託により実施している。 ③非常火災通報装置保守点検(毎日)を委託している。 ④2台確保している。予備として1台確保している。 ⑤光熱水費は利用者のサービスの低下にならない範囲で節約するよう努力した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	・台所の水道の水栓弁の取り換えをおこなった。 ・玄関の自動ドアの不具合があり修理した。 ・災害が起こったときのために水道水を貯めるポリタンク4個、それを運ぶカート1台を用意した。

危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①職員・受療者・通所者の個人情報の保護に努めている。 ②緊急連絡網を作成し、職員・通所者に周知している。 ③岐阜市盲人ホーム条例、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律等を遵守している。
-----------	----------------------------------	---

#### 4. 利用者評価

利用者アンケートの実施状況	8月18日～9月17日までの1ヶ月間 55 人のアンケートを実施した。 (1ヶ月間に2回以上来園の方は、時間のある方のみアンケートに協力してもらった)
利用者アンケートの実施結果	<b>【職員の対応】</b> ・良い 55名 ・悪い 0名 <b>【施設の評価】</b> ・満足 53名 ・やや満足 2名 ・やや不満 0名 ・不満 0名
利用者からの要望・苦情と対処・改善	苦情・要望はありませんでした。

#### 5. 指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・運営委員会を開催し、利用者のニーズを把握する。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・ホームページを公開する。 ・チラシ配布や看板の設置	A	A	A
		区分評価				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・地域の関係機関を通じて、施設を施術者研修の場として利用してもらえるよう取り組む。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートを実施し、要望を把握する。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・接遇に関して、電話での応対等明瞭であることを心がける。 ・施術者に適切な施術とコミュニケーション指導を行う。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・地域の関係機関を通じて、施設を周知し、利用者の掘り起こしに努める。	A	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者へのアンケート実施し、特に苦情や要望があった内容については改善を図る。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・国家資格を有する指導員を1名以上配置する。	A	A	A
		区分評価				
		収支計画の妥当性	・収支計画に沿った運営。	A	A	A

効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策 ・光熱水費縮減のため、サービス低下につながらないよう配慮しながら、節電・節水をする。	A	A	A
	スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・管理責任者を配置する。 ・指導員1名以上を配置する。	A	A	A
	区分評価				A

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的・人的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	・民事再生法や破産法に基づく再生／破産手続き開始の申立てをしていない。 ・法人市税等の滞納がない。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・国家資格を有する指導員の配置	S	S	S
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・管理責任者を配置する。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・研修会に参加し、他施設と意見交換することにより指導技術を高める。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・非常時対応マニュアルに基づいて対応。避難訓練の実施。	A	A	A
		リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	・保険に加入し、賠償責任が問われる事案に対応	A	A	A
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できることであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・岐阜市内に事業所を構える業者を一部業務の再委託先にする。	A	A	A
		地元での資材等の調達	・地元の業者で調達する。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地域の防災運動会等への参加	A	A	A
		その他地元への貢献に関するこ	・施設周辺の清掃。 ・年に一度、無料奉仕を行う。	A	A	A
		区分評価			A	

## 6. 指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	・盲学校、関係する団体(アソシア)、過去の退園者に通所者を掘り起こす努力を行なった結果、盲学校来年卒業生1名の見学があった。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	・施術者は受療者に対して主症を把握しカルテを作成した。適切に施術できるよう技術向上のために週1回、元盲学校の教諭に技術指導を依頼し、園長も技術指導を行った。また、誰が施術を行っても対応できるように情報を施術者間で共有した。
今後の取組み	・技術向上を図り早期自立・独立できるよう指導していきたい。

## 7. 所管課の意見

受療者のカルテ作成や施術者間での情報共有により、受療者の満足度の向上、受療者への効率的な施術が行われており、受療者の増加につながっている点が評価できる。また、受療者の満足度が向上すれば、通所者の満足にもつながり、相乗効果により、さらなる利用促進、利用者増を実現できると考えられ、実際に通所者数も受療者数も増加している。  
引き続き、満足度向上の方策を継続し、さらなる利用者数の増加に努めていただきたい。

## 8. 指定管理者評価委員会の意見

施術者と受療者双方が増加し、また、施術者以上に受療者が増えていることは、評価できる。  
施術者を増やすため、今後も盲学校卒業生などに学ぶチャンスを広げていただきたい。